SONY

2-186-768-**01**(1)

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

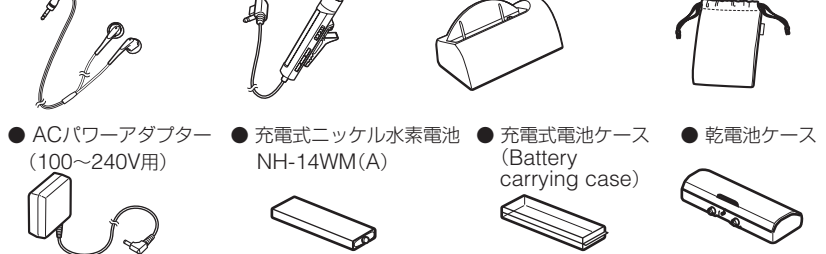
⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
「安全のために」の注意事項は、裏面をご覧ください。

MZ-E730

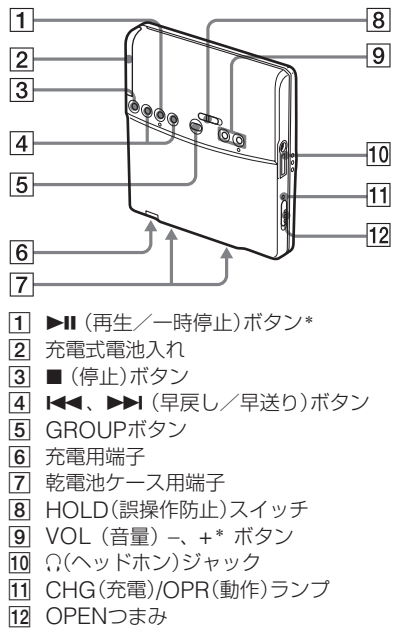
付属品を確かめる

● ヘッドホン　● リモコン　● 充電スタンド　● キャリングポーチ

● ACパワーアダプター（100～240V用）　● 充電式ニッケル水素電池 NH-14WM（A）　● 充電式電池ケース（Battery carrying case）　● 乾電池ケース

● 取扱説明書　● 保証書　● ソニーご相談窓口のご案内

ご注意
本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
- 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
- 本体にリモコン／ヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

各部のなまえ

プレーヤー本体

1. ►II（再生／一時停止）ボタン*
2. 充電式電池入れ
3. ■（停止）ボタン
4. I◄◄、►►I（早戻し／早送り）ボタン
5. GROUPボタン
6. 充電用端子
7. 乾電池ケース用端子
8. HOLD（誤操作防止）スイッチ
9. VOL（音量）–、+* ボタン
10. Ω（ヘッドホン）ジャック
11. CHG（充電）/OPR（動作）ランプ
12. OPENつまみ

* ボタンに凸点（突起）がついてます。操作の目印としてお使いください。

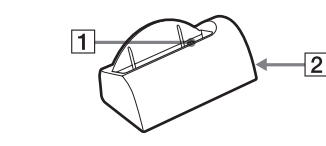
充電スタンド

1. 充電用端子
2. DC IN 3Vジャック（側面）

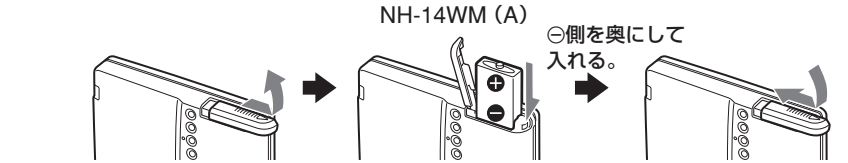
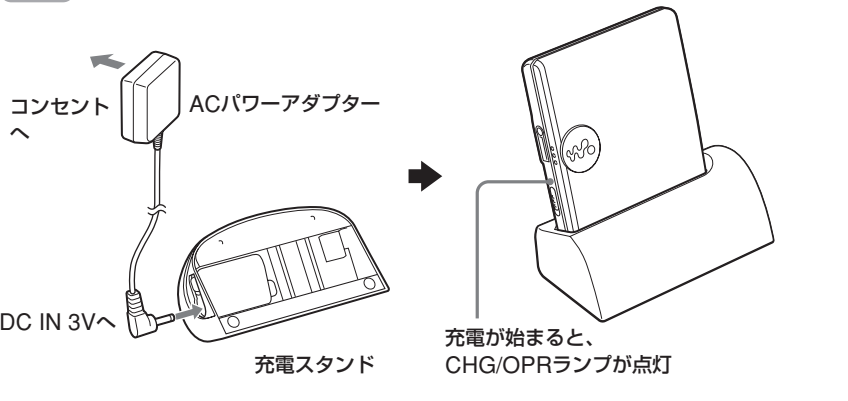
リモコン／ヘッドホン

1. ヘッドホン
2. ステレオミニプラグ
3. VOL（音量）+、– つまみ
4. ■（停止）ボタン
5. ジョグレバー（I◄◄・►II/ENT・►►I）
6. 🗀（グループ）–、+ ボタン
7. クリップ
8. HOLD（誤操作防止）スイッチ
9. 表示窓
10. DISPLAYボタン
11. P MODE/⊂（再生モード/リピート）ボタン
12. SOUND ボタン

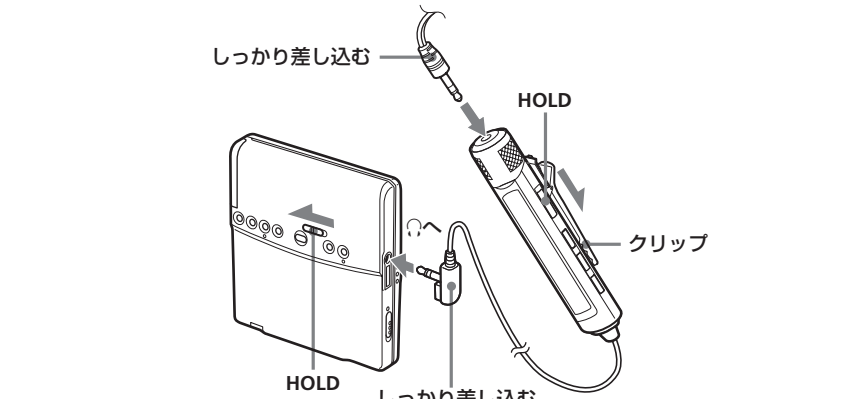
リモコン表示窓

1. ディスク表示
2. 曲番表示部
3. 文字情報表示部
4. 再生モード表示
5. バーチャルサラウンド／6バンドイコライザ表示
6. 電池残量表示

準備する

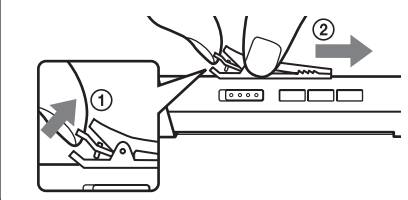
お使いになる前に、まず充電式電池を充電してください。

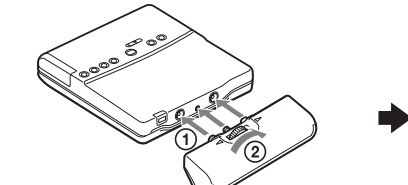
1 充電式電池を入れる

2 充電する

充電状態をCHG/OPRランプでお知らせします。
点灯→消灯（約3時間半後）
ランプが消えた時点でお使いになれます。
（リモコンをつないでいるとき、充電中は表示窓に「Charging」と表示されます。）

ご注意
充電中、再生などの操作をすると充電が停止します。

3 リモコンをつなぎホールドを解除する

リモコンのクリップの使いかた

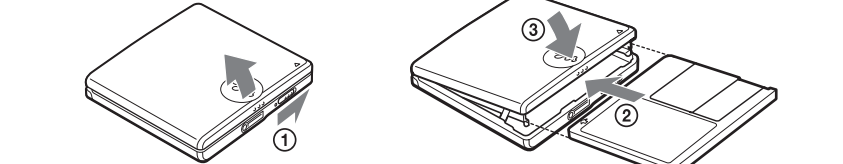
リモコンを取り付ける位置によっては、表示窓に出る文字の向きが上下逆転し、読みにくい場合があります。その場合、下記のようにリモコンのクリップを逆向きにつけてください。

1 クリップをはずす。　**2** 逆向きに付ける。

アルカリ乾電池で使うときは

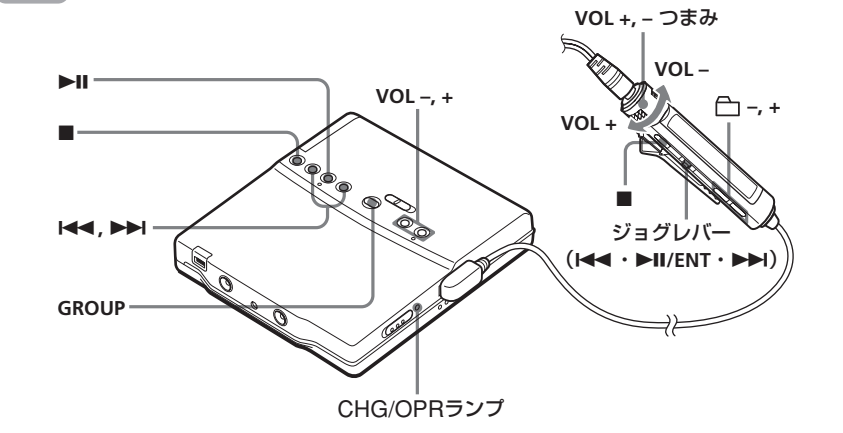
1 乾電池ケースを本体に取り付ける。　**2** 必ず⊖側から入れる。

別売りのソニーアルカリ乾電池（単3形）を1本入れます。
充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。

ミニディスクを聞く

1 ミニディスクを入れる

① OPENつまみを矢印の方向へずらす。② ミニディスクを入れる。③ ふたを閉める。

ディスクのラベル面を上にし、矢印の向きに奥まで押し入れてください。

2 再生する

►II　■　I◄◄, ►►I　GROUP　VOL –, +　CHG/OPRランプ　VOL +, – つまみ　VOL –　VOL +　🗀 –, +　■　ジョグレバー（I◄◄・►II/ENT・►►I）

① **ジョグレバーを押す（►II）（本体では►IIを押す）。**
「ピ」と確認音がします。CHG/OPRランプが点灯します。

② **VOL つまみを＋または－側へ回して音量を調節する（本体ではVOL －または＋を押す）。**
リモコンの表示窓で音量を確認できます。

再生を止めるには、■ボタンを押す。
「ピー」と確認音がします。
次に再生する時は、止めたところの続きから始まります。ディスクの初めの曲から再生を始めたいときは、ジョグレバー（►II）を2秒以上押したままにして（本体では►IIを2秒以上押したままにする）、再生を始めてください。

こんなときは	操作（確認音）
一時停止する	►IIを押す。（ピ・ピ・ピ・・・） もう一度押すと解除されます。
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	ジョグレバーをI◄◄側にずらす。（本体ではI◄◄を押す。）（ピピピ）
次の曲を頭出しする	ジョグレバーを►►I側 にずらす。（本体では►►Iを押す。）（ピピ）
再生しながら早戻しまたは早送りする	ジョグレバーをI◄◄側または►►I側にずらしたままにする。（本体ではI◄◄または►►Iを押したままにする。）
経過時間を見ながら聞きたい場所を探す（タイムサーチ）	一時停止中、ジョグレバーをI◄◄側または►►I側にずらしたままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す（インデックスサーチ）	停止中、ジョグレバーをI◄◄側または►►I側にずらしたままにする。
グループの頭出しをする[1]（グループスキップ）	🗀 –、+ボタンを押す。（本体では、GROUPを押してからI◄◄または►►Iを押す。[2]）
ディスクを取り出す[3]	■を押してから、本体のOPENつまみをずらす。

[1] ディスクにグループが1つもない場合は、10曲ごとの頭出しになります。
[2] 本体のGROUPボタンを押してから5秒以内に操作してください。その間、リモコンの表示窓には 🗀 マークが点滅します。
[3] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

►操作を始める前に

メニュー操作のしかた

本機では、さまざまな機能をメニューを使って操作します。メニューの操作は下記の手順で行います。

1 停止中または再生中にDISPLAYを2秒以上押す。
メニュー画面になります。

2 ジョグレバーを繰り返しずらして、項目を選択する。

3 ジョグレバーを押して、項目を決定する。

4 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。
最後にジョグレバーを押した時点で設定が確定します。

1つ前の段階に戻すには

■ボタンを押す。

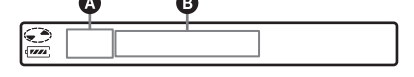
途中で中止するときは

DISPLAYボタンまたは■ボタンを2秒以上押す。

►いろいろな聞きかた

ここからは、リモコンのボタンを使った操作を主体に説明しています。
リモコンと同じなまえの本体のボタンも同様に使うことができます。

曲名や曲の時間を見る

曲名やディスク名、曲番、曲の経過時間、録音されている曲数、グループ名を確認できます。

1 DISPLAYを押す。
押すたびに表示は次のように変わります。

Ⓐ	Ⓑ
曲番	経過時間
曲番	曲名
総曲数	ディスク名
曲番	グループ名と曲名[1]
曲番	サウンドモード
曲番	SP/LPモード[2]

[1] グループに属していない曲を再生中は、ディスク名と曲名が表示されます。
[2] SP/LPモードは、再生中のみ表示され、しばらくすると自動的に経過時間表示に戻ります。

ご注意
グループ再生／通常再生の状態や、動作状態、設定状態によっては、表示が選択できなかったり、表示が異なったりすることがあります。

再生モードを選ぶ

再生モードを選んでいろいろな方法で曲を聞くことができます。再生モードは、メイン再生モード、サブ再生モード、リピート再生の3つの組み合わせで設定します。

- メイン再生モード：再生したい曲やグループなどの単位を選ぶ。
- サブ再生モード：再生方法を選ぶ。
- リピート再生：リピート再生を設定する。

メイン再生モードを選んで曲を聞く

1 メニュー操作で「MainPMode」を選ぶ。

2 ジョグレバーを繰り返しずらしてお好みの再生モードを選び、押して決定する。
ジョグレバーを繰り返しずらすたびに表示は次のように変わり、選んだ表示の状態で再生します。

表示	再生状態
Normal	通常の再生（ディスク全曲を1回再生）
Group	グループ再生（今再生しているグループのみを再生）
Bookmark	ブックマークトラック再生（ブックマーク（しおり）がついている曲のみを順番に再生）
Program	プログラム再生（聞きたい曲を好きな順に並べかえて再生）

通常のモードで曲を聞く（通常再生）

1 メニュー操作で「MainPMode」–「Normal」を選ぶ。

グループの曲を聞く（グループ再生）

グループの設定されているディスクをお使いください。

1 メニュー操作で「MainPMode」–「Group」を選ぶ。
🗀 マークが表示されます。

グループの頭出し（グループスキップ）をするには

再生中、🗀 –または+を押す。
🗀 – ボタンを押すとグループの先頭曲に、続けてもう一度押すと前のグループの先頭曲に移動します。

本体で操作するには
1 再生中、GROUPを押す。
2 I◄◄または►►Iを押す。

💡
グループに入っていない曲は「Group – –」と表示されます。

ご注意
本機でグループ設定することはできません。MDレコーダーなどで設定してください。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマークトラック再生）

好きな曲にブックマーク（しおり）をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

ブックマークをつけるには

1 ブックマークをつけたい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

ブックマークがゆっくり点滅

ブックマークが確定します。

2 手順1を繰り返してブックマークをつけていく。
全部で255曲までつけられます。

ブックマークした曲を再生するには

1 メニュー操作で「MainPMode」–「Bookmark」を選ぶ。

2 ジョグレバーを押す。
ブックマークされた一番小さい曲番から順に再生が始まります。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

好きな順に曲やグループを並べかえて聞く（プログラム再生）

曲やグループを好きな順に並べかえて聞くことができます。

曲をプログラムする（トラックプログラム）

1 メニュー操作で「MainPMode」–「Program」–「Track」を選ぶ。

2 ジョグレバーを繰り返しずらしてお好みの曲を選び、押して決定する。

曲番　プログラムの順番

プログラムの1曲目が登録されます。

3 上記の手順2を繰り返して曲をプログラムする。
64曲までプログラムできます。

4 選び終わったらジョグレバーを2秒以上押して決定する。
設定が確定し、「PGM」が表示され、プログラムの1曲目から再生が始まります。

グループをプログラムする（グループプログラム）

1 メニュー操作で「MainPMode」–「Program」–「Group」を選ぶ。

2 ジョグレバーを繰り返しずらしてお好みのグループを選び、押して決定する。

グループ番号　プログラムの順番

プログラムの1グループ目が登録されます。

3 上記の手順2を繰り返してグループをプログラムする。
20個までプログラムできます。

4 選び終わったらジョグレバーを2秒以上押して決定する。
設定が確定し、「🗀 PGM」が表示され、プログラムの最初のグループの1曲目から再生が始まります。

💡
- プログラム中にジョグレバーを押すと、それまでにプログラムした曲またはグループを確認できます。
- 操作の途中で、曲番またはグループ番号を「000」に、プログラムの順番を「01」として、ジョグレバーを押すとプログラムがクリアされます。
- プログラムした曲またはグループを変更する場合は、変更したいプログラムの順番を表示させてから、上記の手順2の操作でプログラムし直すことができます。
- プログラム設定中に■ボタンを押すと、そのときまでに設定したプログラムの内容は保存されずに、プログラム設定を開始する前の状態に戻ります。

サブ再生モードを選ぶ

メイン再生モードで選んだ曲を、いろいろな再生のしかたで聞くことができます。例えば、メイン再生モードで「Group」を、サブ再生モードで「SHUF」を選ぶと、選んだグループの中の曲を順不同に再生することができます。

P MODE/⊂を繰り返し押す。
押すたびに表示は次のように変わります。

表示	再生モード
（表示なし）	通常の再生（全曲を1回再生）
1	1曲再生（選んだ1曲のみ再生）
SHUF	シャッフル再生（メイン再生モードで選んだ曲を順不同に再生）
A-B（*A-B*⊂）	A-Bリピート再生（曲の中のA点とB点を繰り返し再生）

曲中の指定した部分だけを繰り返して再生する（A-Bリピート再生）

ひとつの曲の中にA点とB点を指定して、その間を繰り返し聞くことができます。A点とB点は、必ず同一曲内に指定してください。

1 繰り返したい部分を含んでいる曲を再生中に、P MODE/⊂を繰り返し押し、「A-」を点滅させる。

2 繰り返しを始めたい点（A点）でジョグレバーを押す。
A点が確定し、「B」が点滅します。

3 繰り返しを終えたい点（B点）でジョグレバーを押す。
B点が確定し、「A-B ⊂」が点灯し、A点とB点の間を再生します。

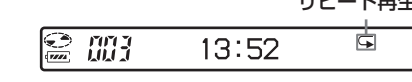
💡
A-Bリピート再生中にジョグレバーを►►I側にずらすと、A点、B点を設定し直すことができます。

ご注意
「A-」が点滅中にディスクの最後まで再生してしまったときは、A-Bリピートの設定が中止されます。

繰り返し聞く（リピート再生）

A-Bリピート再生以外の再生モードのとき、曲を繰り返し聞くことができます。

P MODE/⊂を2秒以上押す。
「⊂」が点灯します。

リピート再生

解除するには

P MODE/⊂を2秒以上押します。

好みの音にする（バーチャルサラウンド・6バンドイコライザ）

音の臨場感を変えたり、お好みの音質を設定することができます。次の2つの効果から1つ選べます。
V-SUR（バーチャルサラウンド）：音の臨場感を変える。（4種類）
6 BAND EQUALIZER（6バンドイコライザ）：音質を変える。（6種類）

音の臨場感を選ぶ（バーチャルサラウンド）

1 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SUR」を選ぶ。

2 SOUNDを2秒以上押す。

3 ジョグレバーを繰り返しずらしてサラウンドの種類を選ぶ。

ジョグレバーをずらすたびにⒶとⒷが次のように変わります。

Ⓐ	Ⓑ
Studio	SUR S
Live	SUR L
Club	SUR C
Arena	SUR A

4 ジョグレバーを押して決定する。

設定を解除するには

上記の手順1でⒷに何も表示されていない状態を選びます。

音質を選ぶ（6バンドイコライザ）

1 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SND」を選ぶ。

2 SOUNDを2秒以上押す。

3 ジョグレバーを繰り返しずらしてサウンドの種類を選ぶ。

ジョグレバーをずらすたびにⒶとⒷが次のように変わります。

Ⓐ	Ⓑ
Heavy	SND H
Pops	SND P
Jazz	SND J
Unique	SND U
Custom1	SND 1
Custom2	SND 2

4 ジョグレバーを押して決定する。

設定を解除するには

上記の手順1でⒷに何も表示されていない状態を選びます。

好みの音質にする

「Custom1」と「Custom2」には、お好みの音質を記憶させることができます。

1 上記の手順1～3を行い、「Custom1」または「Custom2」を表示させる。

2 ジョグレバーを押して決定する。

3 ジョグレバーを繰り返しずらして周波数を選ぶ。

周波数（100Hz）

周波数は左から、100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHzです。

4 VOLつまみを繰り返し回してレベルを調節する。

レベル（+10dB）

レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

5 手順3と4を繰り返す。

6 ジョグレバーを押して決定する。

►各種設定

音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLS — オートボリュームリミッターシステム — 快適音量）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことでの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

1 再生中、メニュー操作で「Option」–「AVLS」を選ぶ。

2 ジョグレバーをずらして「AVLS On」を選び、押して決定する。
「AVLS On」が表示されます。

AVLSを解除するには

上記の手順2で「AVLS Off」を選び、ジョグレバーを押します。

本体で設定するには
再生中、HOLDスイッチを⊿の方向にずらし、VOL – ボタンを押しながら、HOLD スイッチを⊿と逆方向にずらします。解除する場合は、VOL + ボタンを押しながら同様の操作をします。

確認音を消す

リモコンと本体の確認音を消すことができます。

1 メニュー操作で「Option」–「Beep」を選ぶ。

2 ジョグレバーをずらして「Beep Off」を選び、押して決定する。
「Beep Off」が表示され、リモコンと本体の確認音が消えます。

確認音を鳴らすには

上記の手順2で「Beep On」を選びます。

リモコン表示窓のバックライトをつける／消す

リモコンの表示窓を常に点灯させる／点灯させないの設定をすることができます。

1 メニュー操作で「Option」–「Backlight」を選ぶ。

2 ジョグレバーをずらして設定を選ぶ。

表示	設定
Auto	操作中は点灯。しばらくすると消灯（お買い上げ時の設定）
On	動作中は常に点灯
Off	常に消灯

3 ジョグレバーを押して決定する。

💡
パワーセーブ機能利用中は、「Backlight」の設定に関わらず、バックライトはつきません。リモコン表示は操作後まもなく消灯します。

ディスクごとに設定を記憶する（ディスクメモリー）

本機は、お買い上げ時にはディスクの設定情報を自動的に登録するように設定されています。
この設定がされていると、ディスクを取り出すときに設定情報を自動的に登録し、一度登録したディスクを再度入れたときに、設定情報が自動的に呼び出されます。次の設定情報を登録できます。
- プログラムした内容
- ブックマークした曲
- 6バンドイコライザの「Custom1」「Custom2」

記憶する設定になっているかは、次の手順で確認できます。

1 ディスクを取り出しふたを閉めてから、メニュー操作で「Option」–「Disc Mem」を選ぶ。
お買い上げ時の状態では「On」が表示され、記憶する設定になっています。「On」が表示されていることを確認したら、■ボタンを2秒以上押して終了します。

2 「On」が表示されていないときは、ジョグレバーをずらして「On」を選び、押して決定する。

記憶させない設定にするには

上記の手順2で「Off」を選びます。

登録を消すには

1 登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認する。

2 上記の手順2で、「1MemErase」を選ぶ。
ディスクの設定情報は登録から削除されます。

💡
ディスクメモリーが「On」になっているときは、ディスクメモリーに登録したディスクを再度入れたときに、「Disc Mem」が表示されます。

ご注意
- ディスク20枚分を登録することができますが、20枚を超えると再生した時期が古いものから自動的に消去されます。
- ディスクメモリーの登録を行ったことがないディスクで、登録の消去を行うと「NoDiscMEM」と表示されます。

▶ 各種設定（つづき）

VOL +, – つまみ / HOLD / DISPLAY / P MODE/⊆ / SOUND / ■ / 🗀 –, + / ジョグレバー（I◀◀・▶II/ENT・▶▶I）

すばやく音を聞く
（クイックモード）

再生ボタンを押したあとや、曲を頭出ししたあと、すばやく再生音を聞くことができます。

1. **メニュー操作で「Option」–「PowerMode」を選ぶ。**
2. **ジョグレバーを繰り返しずらして「Quick」を選び、押して決定する。**

設定を解除するには
上記の手順2で「Normal」を選びます。

ご注意
- 設定を「Quick」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなりますので毎日充電することをおすすめします。
- 何も操作されない状態（ふたの開閉を含む）で、17時間が経過すると、自動的に本体内部の電源が切れます。次に操作したときの動作は遅くなりますが、そのあとはまたクイックモードになります。

電池の消耗を抑える
（パワーセーブ機能）

電池の持続時間を最大限に長くする機能です。本体のCHG/OPRランプを常に消灯させたり、操作したあとまもなくリモコン表示を消灯させたりして電池の消耗を抑えます。

1. **メニュー操作で「Option」–「PowerMode」を選ぶ。**
2. **ジョグレバーを繰り返しずらして「PowerSave」を選び、押して決定する。**
   本体のCHG/OPRランプが消えます。

💡
- より高音質で音楽を楽しみたいときはパワーセーブ機能を使わずに、「PowerMode」では「Normal」を選んでください。
- 「PowerSave」に設定してあるときは、リモコン表示窓のバックライトは点灯しません。
- パワーセーブ機能でリモコン表示が消えているときに、再度表示を点灯させるには、DISPLAYボタンを押します。

CHG/OPRランプをつけるには
上記の手順2で「Normal」または「Quick」を選びます。

💡
「PowerSave」設定中も、以下のボタン操作時にはCHG/OPRランプは点灯／点滅します。
本体：▶II・I◀◀/▶▶I・GROUP
リモコン：▶II/ENT・I◀◀/▶▶I・🗀 –、+

誤操作を防ぐ
（ホールド機能）

1. **リモコンのHOLDを◀━の方向に，本体では⊿の方向にずらす。**
   リモコンのHOLDスイッチをずらすと、リモコンの操作ボタンが、本体のHOLDスイッチをずらすと、本体の操作ボタンが働かなくなります。

HOLDを解除するには
HOLDスイッチを上記と逆の方向にずらします。

再生速度を変える
（スピードコントロール）

語学学習などで再生速度を変えたいときに便利です。音程を変えずに再生速度だけが変わります。（デジタルピッチコントロール機能）
–50%～+100%までの13段階から再生速度を選ぶことができます。

1. **メニュー操作で「SpeedCtrl」を選ぶ。**
   再生速度の設定画面になります。
2. **ジョグレバーを繰り返しずらして速度を選び、押して決定する。**

   003SC +10 %

   再生音を聞きながら再生速度を選んでください。

通常の速度に戻すには
手順2で再生速度を0%に戻し、決定する。

ご注意
再生速度を変えると、再生中に「プチプチ」という音が聞こえたり、エコーがかかったように聞こえる場合があります。

音飛びを抑える
(G-PROTECTION)

G-PROTECTIONはジョギング時の衝撃を想定して開発された音飛びガード機能です。従来の音飛びガードよりさらに音飛びに強くなっています。

ご注意
次のようなとき、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられたとき
- 傷や汚れのあるMDを聞いているとき

▶電源について

充電式電池・乾電池の取り換え時期は

ご使用中、リモコンの表示窓の電池残量表示で、または本体のCHG/OPRランプ表示でお知らせします。

リモコンの表示窓
残量が少なくなってます。
↓
電池が消耗しています。
↓
残量がありません。リモコンの「LOW BATT」表示が点滅し、電源が切れます。

本体のCHG/OPRランプ表示
LED点灯　電池残量は充分です。
↓
LED遅い点滅　電池残量が少なくなってます。
↓
LED速い点滅　電池残量がありません。しばらくするとLEDが消灯し、電源が切れます。

ご注意
- 充分に充電されていない充電式電池を入れても、残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量（充電時間）が少なければ、持続時間は短くなります。
- 早戻し／早送り時や極端に温度が低い場所で使用している時は、残量が多めに、または少なめに表示されることがあります。

電池の持続時間[1] (JEITA[2])

使用電池	SP ステレオ（通常）	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニッケル水素電池 NH-14WM(A)	約41時間	約65時間	約69時間
アルカリ乾電池 LR6(SG)[3]	約76時間	約102時間	約125時間
充電式ニッケル水素電池とアルカリ乾電池[3]の併用	約113時間	約153時間	約201時間

1) パワーセーブ機能使用時の値です。
2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です（ソニーMDWシリーズのミニディスクを使用）。
3) 日本製ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）で測定しています。

ご注意
電池の持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。

コンセント（家庭用電源）につないで使う

ACパワーアダプターを充電スタンドにつなぎ、本体をのせると、充電式電池や乾電池なしで使うことができます。

💡
付属のACパワーアダプターは、100～240Vの電源電圧に対応しています。コンセントの形にあったプラグアダプターをご用意いただければ、海外でもお使いになれます。

ご注意
ACパワーアダプターでご使用中は、パワーセーブ機能が無効になります。

▶その他

使用上のご注意

分解しないでください
ミニディスクプレーヤーに使われているレーザー光が目にあたると危険です。

レンズに触れないでください
レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを開けないでください。

ACパワーアダプターについて（付属の充電スタンド専用）
- この製品には、付属のACパワーアダプター／別売りのACパワーアダプター AC-E30Lをご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  — 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  — 火災や感電の危険を避けるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

充電について
- 付属の充電スタンドは、本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、指定の電池以外は充電しないでください。
- 充電は、+5℃～+40℃の場所で行ってください。
- 充電中は、充電スタンドや充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池では持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分充電されるようになります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 充電が終わったら、早めに本体を充電スタンドからはずし、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。

日本国内での充電式電池の廃棄について
Ni-MH
ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ：http://www.baj.or.jp/を参照してください。

取り扱いについて
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強くひっぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  — 温度が非常に高いところ
  — 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
  — 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
  — 風呂場など、湿気の多いところ
  — 磁石、スピーカー、テレビなどの磁気を帯びたものの近く
  — ほこりの多いところ

温度上昇について
充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について
本機は省電力の動作方式になっています。
そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ミニディスクの取り扱いについて
- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  — **ミニディスクに直接触れない**
  シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

  シャッター　カートリッジ

  — **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**
  — **置き場所について**
  直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性のあるところには放置しないでください。
  — **定期的にお手入れを**
  カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふき取ってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせてしっかり貼ってください。

ヘッドホンについて
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ヘッドホンを絶対に使用しないでください。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を、目安にしてください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

リモコンについて
- 付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンでは本機の操作はできません。
- リモコンのクリップを紛失した場合は、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのサービス窓口にご相談ください。

乾電池ケースについて
付属の乾電池ケースは本機専用です。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

お手入れ

表面が汚れたときは
表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきをします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れについて
常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音や音切れの原因になることがあります。

端子のお手入れについて
定期的に各端子（本体の充電用端子や、乾電池ケースの端子など）を綿棒や柔らかい布などできれいにしてください。

本体充電池挿入部

乾電池ケース（付属）

充電式電池（付属）／乾電池（別売り）

充電スタンド（付属）

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。
ご不明な点があるときは、お客さまご相談センターへお問い合わせください。

充電できない
- 充電スタンドの充電用端子が汚れている。
  ➜ 充電用端子を乾いた布などで拭いてください。
- 充電式電池が入っていない。
  ➜ 充電式電池を入れてください。
- 充電している場所の温度が高すぎる。（リモコンに「CannotCHG」表示が出る）
  または低すぎる。（リモコンに「SLOW CHG」表示が出る）
  ➜ 充電は、+5℃～+40℃の場所で行ってください。

本体を充電スタンドに置いてもCHG/OPRランプがつかない
- 充電式電池が入っていない。
  ➜ 充電式電池を入れてください。
- 本体を充電スタンドに置いてもすぐにCHG/OPRランプがつかないときがあります。
  ➜ 本体を充電スタンドに置いて約1分後、CHG/OPRランプが点灯し、充電が始まります。

操作を受けつけない
- 電池が正しく入れられていない。
  ➜ 電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れ直してください。
- ディスクが入っていない（リモコンに「NO DISC」表示が出る）。
  ➜ ディスクを入れてください。
- ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すとリモコンに「HOLD」表示が出る）。
  ➜ HOLDスイッチを矢印と逆方向にして、ホールド機能を解除してください。
- リモコンでメニュー項目の設定中に、本体のボタンを押した。（本体のボタンを押すとリモコンに「IN MENU」表示が出る）。
  ➜ リモコンで操作を終了させてください。
- 結露（内部に水滴が付着）している。
  ➜ ディスクを取り出して、数時間待ってください。
- 充電式電池または乾電池が消耗している（リモコンに「LOW BATT」表示が出る）。
  ➜ 充電式電池を充電するか、乾電池を新しいものと交換してください。
- 何も録音されていないディスクが入っている（リモコンに「BLANKDISC」表示が出る）。
  ➜ 録音されたディスクを入れてください。
- ディスクが損傷している（リモコンに「READ ERR」または「TOC ERR」表示が出る）。
  ➜ ディスクを入れ直す。それでも表示が出るときは、他のディスクと取り換えてください。
- 使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けた。
  ➜ 次の手順で操作し直してください。
  1. すべての電源をはずす。
  2. 約30秒間そのままにする。
  3. 電源をつなぐ。

再生ができない
- Hi-MD規格専用ディスク、またはHi-MDモードで録音されたディスクを入れた。
  ➜ 本機ではHi-MD規格専用ディスクやHi-MDモードで録音されたディスクは再生できません。

ヘッドホンから音が出ない
- ヘッドホンがしっかりと差し込まれていない。
  ➜ ∩ジャックにしっかりと差し込んでください。
  ➜ ヘッドホンをリモコンにしっかりと差し込んでください。
- AVLS機能が働いている。
  ➜ AVLSを解除してください。くわしくは「音もれを抑え耳にやさしい音にする」をご覧ください。

通常の再生ができない
- リピート再生を指定した。
  ➜ リモコンのP MODE/⊆ボタンを2秒以上押したままにして、⊆（リピート）表示を消してから再生を始めてください。

ディスクの1曲目から再生できない
- 前回再生したときディスクの途中で止めた。
  ➜ ふたを開けるか、停止中にリモコンのジョグレバーを2秒以上押したままにしてください。1曲目から再生できます。

再生中に音がとぎれる
- 振動の多い場所に置いている。
  ➜ 振動の少ない場所で使ってください。
- ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。

雑音が多い
- テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。
  ➜ テレビなどから離して置いてください。

瞬間的なノイズが聞こえる
- LP4（4倍モード）でステレオ録音された音を再生している。
  ➜ LP4ステレオ録音した音を再生した場合、圧縮方式の特性により、ごくまれに瞬間的なノイズが聞こえることがあります。

再生中にCHG/OPRランプやリモコンの表示窓がつかない
- パワーセーブ機能が働いている。
  ➜ パワーセーブ機能が働いているとき、リモコンで操作すると表示窓がつきますが、本体で操作しても表示窓はつきません。（ただし、本体のGROUPボタンを押したときのみつきます。）

グループ機能が動作しない
- グループ設定されていないディスクを使用している。
  ➜ グループ設定されたディスクを使用してください。

ブックマークトラック再生ができない（リモコンに「NO MARK」表示が出る）
- ブックマークをつけていない状態でブックマークトラック再生を選ぼうとした。
  ➜ ブックマークをつけてください。くわしくは「好きな曲だけを選んで聞く」の「ブックマークをつけるには」をご覧ください。

主な仕様

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム
再生読み取り方式
非接触光学式読み取り（半導体レーザー使用）
レーザー
GaAlAs MQWダイオード、
λ = 790 nm
回転数
約300 rpm～2,700 rpm
エラー訂正方式
ACIRC（アドバンスト クロス インターリーブ リードソロモン コード）
サンプリング周波数
44.1 kHz
コーディング
ATRAC（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）
ATRAC3 — LP2/LP4
変調方式
EFM
チャンネル数
ステレオ2チャンネル
モノラル1チャンネル
周波数特性
20 ～ 20,000 Hz ±3 dB
出力端子
ヘッドホン:ステレオミニジャック
最大出力 5 mW+5 mW*（16Ω）
電源
充電式電池（付属：NH-14WM(A)、1.2 V、1350 mAh (MIN)、Ni-MH）1個
アルカリ乾電池（単3形）1本
外部電源ジャック（充電スタンド）　定格 DC 3V
ACパワーアダプター（充電スタンド用、付属）、AC100～240V、50/60Hz
電池持続時間
「充電式電池・乾電池の取り換え時期は」をご覧ください。
本体寸法
約 71.9 ×78.3 ×13.9 mm
（幅／高さ／奥行き、突起部含まず）
最大外形寸法*
約 72.1 ×79.7 ×14.7 mm
（幅／高さ／奥行き）
質量
約 69g（本体のみ）
約 96g（充電式電池含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリー
ACパワーアダプター　AC-E30L
充電式ニッケル水素電池　NH-14WM
ステレオヘッドホン*1　MDR-E888SP、MDR-EX71SLなど
MD・CDウォークマン専用スティック・コントローラー　RM-MC33EL*2、RM-MC35ELK*2、*3
アクティブスピーカー　SRS-Z510、SRS-Z30など

*1 ヘッドホンは、本体の∩ジャックにつなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。
*2 A-Bリピート再生機能はご使用になれません。
*3 2行表示はできません。

下記の機種は、本機と併用することができません。
ロータリーコマンダー RM-WMC1
MDラベルプリンター MZP-1
ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラー RPT-M1

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
- **調子が悪いときはまずチェックを**
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも具合の悪いときはサービスへ**
  お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- **保証期間中の修理は**
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理は**
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- **部品の保有期間について**
  当社ではポータブルミニディスクプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ先について
本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記までお知らせください。
- 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]—[ウォークマン]です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  — 型名
  — ご相談内容：できるだけ詳しく
  — お買い上げ年月日

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は　03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ·················· 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
下記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電スタンドなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. 電源を切る
2. ACパワーアダプターをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
火災　感電

行為を禁止する記号
禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号
強制

⚠警告　火災　感電　下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

禁止

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。

接触禁止

指定以外の充電スタンドやACパワーアダプターなどを使わない
破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

禁止

ぬれた手でACパワーアダプターや充電スタンドをさわらない
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプター、充電スタンドを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

火のそばや炎天下などで充電・放置しない
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

充電スタンドの上に金属を置かない
充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

金属類と一緒に本体や乾電池ケースを携帯・保管しない
コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや充電スタンド、製品に長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意
液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険　**充電式電池、乾電池が液漏れしたときは**
充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険　**充電式電池について**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電スタンド、ACパワーアダプター以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠警告　**乾電池について**
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

⚠注意　**乾電池について**
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

お願い
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。